

令和5年度 第2回松山地域協議会会議録

日 時 令和5年7月27日(木) 午後1時30分～3時30分

場 所 松山農村環境改善センター

出席委員 14名

平 向 邦 夫 木 村 美津枝

今 井 一 博 岩 崎 彩 小 林 正 利 石 川 百合子

清 野 淳 富 樫 とも子 荘 司 東 一 齊 藤 薫

田 村 敬 子 櫻 田 憲 彦 井 上 亜紀子 荘 司 徳 由

欠席委員 1名

加 藤 恭 子

酒田市出席者

教育次長 池 田 里 枝

松山総合支所長 鈴 木 啓 介

松山総合支所長補佐兼地域振興係長 佐 藤 賢 治

松山総合支所長補佐兼建設係長 堀 伸 一

松山総合支所産業係長 工 藤 慶

スポーツ振興課長 齋 藤 聡

スポーツ振興課長補佐 土 門 将 志

スポーツ振興課施設係調整主任 阿 部 功

社会教育課長 前 田 聡 子

社会教育課長補佐 小 野 慎太郎

1 開 会

○開会の言葉 佐藤支所長補佐

2 会長あいさつ

○平向邦夫会長よりあいさつ

3 議事録署名人の指名

○会長より議事録署名人に、富樫とも子委員を指名

4 報告

(1) 体育施設の廃止について（スポーツ振興課）

～池田教育次長より、松山スキー場人工ゲレンデの廃止について報告～

- ・松山スキー場は利用者が平成28年レベルに戻ってきているため従前どおり存続する。

質疑なし

(2) 眺海の森天体観測館の廃止について（社会教育課）

～池田教育次長より、眺海の森天体観測館の廃止について報告～

- ・廃止後の建物について、山形県有地に建てられていることから、県に対し現状回復が必要であるか、森林学習展示館で使用したいとの申し出があることからその意思を確認している。

質疑なし

5 議事

(1) 今後の地域協議会の在り方、地域協議会の進め方について

～鈴木支所長が資料（第1回地域協議会正副会長合同会議 会議録）に基づき説明～

- ・地域協議会は存続する。地域協議会の活性化も含めた課題の解決については各地域協議会で取り組む。
- ・3支所地域協議会合同会議は今年度見送り、正副会長に代表者数名を加えた形での、この会議の拡大会議を行うことで調整する。
- ・1回目の松山地域協議会では活発な意見が出されていることから、今年度は従来どおりに行い、ワークショップ等は状況に応じ来年度に向け検討する。
- ・2回目の松山地域協議会では、市長提言に向けた地域課題の洗い出しを行い、3回目で具体的な内容について話し合い、4回目で市長へ提言する内容を協議する。

(平向会長)

市長への提言は要望事項ではなく、「松山は何々についてこうあるべきだ」、「何々はこういう風にするのが望ましい」、「何々はこういう風に進む方向で考えていただきたい」などとしたい。より強いメッセージになるのではと考えている。それを踏まえて皆様より意見をいただきたい。本日は次回の会議に向けて地域で解決すべきテーマを絞っていきたい。本題の前に松山地区として地域協議会を継続することで委員の皆様より了承いただけるか。

(岩崎委員)

要望を出す会ではなく、松山の在り方を考える会としてやっていけるかという意図でいいか。

(平向会長)

要望事項は、自治会連合会、コミュニティー振興会など他の機関で取りまとめている。地域

協議会は、松山はどうあるべきか検討する場だと考えている。私は松山地域協議会を継続して市に松山をアピールしていきたい。そのためにも地域協議会を継続していきたいと考えている。

(荘司徳由委員)

地域協議会の目的が明確でない。ただ提言する、報告を受ける、承認するだけの機関となっている。松山をこういう風にしていきたいという目的があれば市に打ち出していける。何が目的で地域協議会があるのか明確にしていかなければならない。平田地域協議会で行っている地域のいいところ悪いところをみんなで話しあった取組みはとてもよい。そういった話し合いをする場がこの地域協議会であるべきではと思っている。まずは松山地域をどういう風にしていったらいいのか明確にしてはどうか。

(平向会長)

前回の会議で支所長が配布した設置条例に所掌事務が記載している。

(支所長)

設置条例第3条の所掌事務に、市長または市の機関に意見を述べる事が出来るとの規定があり、その中に、地域内振興に関する事、地域づくり予算に関する事、地域内コミュニティー組織の育成強化に関する事とあり、当協議会は、地域振興について意見をいただき、その振興策を市へ提言していくことが設置目的であり所掌事務である。

(平向会長)

今はなくなってしまったが、合併当時には支所で自由に使える、地域づくり予算があり、地域振興にかかる予算を考えて使えた。予算はなくなってしまったが地域の特徴を生かした地域振興を考えていく必要がある。本日は皆様から意見を出していただき、会長・副会長・事務局で集約して、3回目に向けて議論を深めていきたいと考えている。

(木村副会長)

以前自分が地域協議会の委員を務めた際は、地域協議会の発足した当時で選ばれた委員も皆パワーがあった。松山中学校が平田へいく、小学校がいずれ3校統合するといった説明があり混乱した時期だった。その時の説明では、学校を今回統合しても人口減少が進むとまた統合しないとやっていけないと説明があり、その通りになっている。庄内橋の架け替えもいつか予算化すると言われ、ようやく事業化になっている。それが落ち着いてきたときにも、この地域協議会が何の意味があるのかと意見が出ていた。今の地域協議会には当時のパワーが感じられない。どういう風に持って行ったらいいのか分からず戸惑っている。「何々をやってくれ」という時代ではなく、「自分たちでどこまでできるか」、「行政にどこまで手伝ってもらえるのか、補助してもらえるのか」という時代になっている。その中でどのように地域協議会が発展していくのか興味を持っている。

(荘司東一委員)

地域協議会はいろいろな意見を発言する場になってもらいたい。人口減少の中、地域づくりをいかにしていくのか。市で策定したまちづくり協働指針には、地域協議会、コミュニティー振興会、自治会で連携を深めていくとなっている。

市のコミュニティー振興会の中でも内郷は特殊である。体育振興会は内郷だけではなく松山にはない。社会福祉協議会も地区支部が内郷にはなく、専門的な知識を持った人がいないためやることが限られている。地域協議会でお話できればありがたい。地域課題が解決できないことが課題と考えている。

(齊藤薫委員)

地域協議会は報告を受けて提言するだけという内容は以前から変わっていない。商工会という立場で市に対しても提言できるかと思ったがそういった意見はなかった。他の地域の委員も同じ感想をもっていた。やることははっきりした中でやっていきたい。一方的に報告されているだけ、事前に相談もないのに何のために報告を受けているのか分からない。報告事項は早いうちに地域に教えていただけないか。地域協議会は続けていく意味はあると考えているが、現状では何のためにこの地域協議会があるのかと考えてしまう。

(平向会長)

全くその通り。これもすべて市の予算の影響と考えられる。これを何とか打破していきたい。

(支所長)

地域協議会に関しては、とても大切な会なので継続し、皆様から様々なご意見をいただき政策に反映していければと考えている。

(2) 政策提言にかかる地域課題（テーマ）について

～鈴木支所長と平向会長が資料に基づき説明～

(支所長)

今回は地域課題のテーマについて洗い出しを行ってもらいたい。例えば、松山地域に体育振興会を立ち上げたいであるとか、フジストア様が閉店したことによる買い物難民となる方へ移動販売車などの支援が必要であるとか、眺海の森の活用方法であるとか、松山地域にある公共施設の休止や廃止が相次いでいるのでこういった状況を改善していくにはどうしたらいいかなど、委員の皆様から市長へ提言する地域課題のテーマの洗い出しをお願いしたい。その出されたテーマから会長・副会長と事務局で今年度のテーマを絞り込み、3回目で解決策を検討していきたい。こういった流れで進めていきたいと考えている。

(今井委員)

市からは事後報告しかない。予算がない。それを提言していきたい。

(小林委員)

ここで出た意見がどれだけ市に影響があるのか。コミュニティー振興会、自治会連合会の方が影響力が強いのでは。会議スタイルではなく、ひざを突き合わせて協議したほうがいい意見がでるのではないか。

(荘司徳由委員)

会議のスタイルに賛成する。

(清野委員)

昨年度さんさんの活用方法の提言をまとめてきた。今日も天体観測館コスモス童夢、人工ゲレンデの廃止の報告がされたが、それに代わり松山の枠で考えたときに何に生かされてきたのかの説明があって協議ができるのでは。意見をざっくばらんに出しましょうではなく積み重ねてきたものがどうなっているのかを踏まえて協議するべきではないか。まずは昨年提言したさんさんがどのような扱いになったのか、それを踏まえて協議をしてはどうか。

(平向会長)

市長報告会の結果を第1回の地域協議会で報告した際にも申し上げたが、現時点では動きがない状況。諸問題があるが継続して細部をつめていると聞いている。

(支所長)

活用したいと提案のあった市内企業の社内合意が整えば活用できる状況だと聞いている。現状は答えを待っている状況。

(井上委員)

この会場だと委員との距離が遠く、音響も悪いため声が響いて聞き取りにくい。もっと近い形で協議ができれば。松嶺コミュニティーセンターに戻してはどうか。

(支所長)

以前は松嶺コミュニティーセンターで行ってきたが、コロナの影響もあり広い会場に移した。次回より松嶺コミュニティーセンターでの開催を検討する。

(櫻田委員)

農協として松山にどういった地域課題があるのか知りたくて自ら推薦して参加させてもらっている。以前消防団にも入っていたが、10人いた仲間のうち2人しか結婚している人がいなかった。嫁さんが来ないということで、そういう人達が楽しめるようなイベントが出来ないか要望したい。

(田村委員)

少子高齢化が進み、どんどん人口が減っている。出会いの場、コミュニケーションがとれるにぎやかなものがあればいいのでは。

(今井委員)

課題には松山全体の課題と、地区で抱えるそれぞれの課題がある。ここは松山全体の課題をみつける場所ととらえていいのか。それをどう行政に反映させる道筋をたてられるのかはつきりしていない。地域協議会が宙ぶらりんな状態になっているので、もう一度立ち止まって地域協議会の目的を再度皆さんで考えていければいいかと思う。それで絞って行政にどう反映させるのか総合支所や市から考えていただければ。時間をおいて整理していければいいのかと思った。

(岩崎委員)

全体の課題といわれてもピンとこない。意見を求められれば言える。目的がない中で課題を出せと言われても分からない。独身の男性が多いが家にべったりで、若い女性にお嫁に来てくれと言える環境ではないのでは。

(石川委員)

近所に東京から移住してきた方がいる。松山はとて面白いところだと言っていた。東京でも古民家を探して住みたいという人もいるとのこと。

松山に体育振興会があれば、もっと多目的広場の利用拡大のPRもできるのでは。33観音の道がきれいに整備されていたので、ウォーキングのPRをもっとしていけば違う方向に進むのではと思うほどの良さだった。また、移住を希望している方に空き古民家のPRをしてはどうか。

年寄りに聞くと買い物が大変で、昔は移動販売車も来ていたとのこと。それだけでも助かる。ワタライさん1軒だけでは大変。このようなことを考えていかなければならない時期に来ている。年寄りが多く、家に若い人がいればいいのだが、いない家は店を何軒も回れない。こういった方々から困っているとの声が聞こえてくる。地域協議会で取り上げる話題はさんさんなど大きな話も必要かと思うが、地域の資源のPRと地元に住んでいる人の生活のことも考えることも大切では。

(富樫委員)

地域協議会は市に要望を出す会だと思っていた。でも結果として何も解決はしていない。松山が活性化しないと誰も来ない。さんさんを使うには皆で何とかしなければならない。人を呼び、お金を落としてもらうには何をしたらいいのか考えていけない。

(小林委員)

今年のお盆の期間の絵灯籠はなくなるのか。

(支所長)

これまで絵灯籠を上堰に十数基設置してきたが、催事予算を検証するため、今年は予算の位置付けがない。設置や配電に予算が結構かかるわりには、交流人口拡大に寄与していない。佐藤公紀さんの美人画は松山の地域資源ととらえていることから、今年は城址館の中を使い夜間も見られるように展示していく。プレスリリースなどのPRを実施する。

(小林委員)

折角いいものがあるので、JA様や商工会様などクラウドファンディングを使って資金を集めようという気はないのか。

(支所長)

いろいろなことを検討しながら考えていく。

(小林委員)

絵灯籠の補修はどこに出しているのか。

(支所長)

木枠については地元の業者へお願いしている。

(小林委員)

東北公益大、芸工大とタイアップできれば全国へのPRも含めてお願いできるのでは。

(齊藤薫委員)

以前は、企業からの協賛金を集めて絵灯籠を作成した。今は協賛金を集めるのも大変で、市からの補助も減らされた。現在大分壊れてきているが補修はせず台数を減らしている現状。また、設置すると台風とかが来ると片付けなければならず、大変である。

(小林委員)

駐車場や休憩場所などのPRをしていけば違うのではないかと。予算を見直して再度やることになったらPR方法も考えてもらいたい。

(清野委員)

継承していただけることが大切。会場を変えることでの雰囲気をもてみたい。

(荘司徳由委員)

松山地域として、この地区で幸せになれること、残したい伝統、子供たちに喜んで住んでもらえるにはどうしたらいいのか、この3点に絞ってテーマを考えていくのはどうか。もっといい松山になるのでは。これは譲れないということを絞ってはどうか。コスモス童夢、子供達のために残したかった。宇宙に目を向けてもらいたかった。もし森林学習展示館で使っ

てもらえるのであれば、松山の子供たちにコスモス童夢で星を見て育ってもらいたい。

(平向会長)

我々は、市の財政健全化に向けた取組み30-30（サーティーサーティー）による、施策の変換期にはまってしまった。市からは取り下げてもらいたいのが後期計画の1年目なので変更は難しいと言われている。皆様からの意見を基に、事務局と一緒に考えていく。

(支所長)

ご意見の中に、移住者対策や買い物弱者への支援など、課題や提言も出していただいた。この意見を基に次回の協議会まで皆様より具体的テーマや解決方法などについてのアンケートをお願いしたい。それに基づき会長・副会長とテーマを絞り、次回以降の地域協議会を開催していく。

(平向会長)

3地域協議会合同で提言することも考えている。そういったことも今後協議させていただきたい。地域協議会を今年は4回開催する。引き続きご協力をお願いしたい。

6 その他

(田村委員)

日本海総合病院へのシャトルバスの報告はいつくらいになるのか。

(支所長)

9月から10月くらいまでアンケートを実施する予定であるので、地域協議会への報告はそのあとになる。

(田村委員)

その予算をデマンドタクシーのチケット等にまわしてもらいたい。

(支所長)

第1回地域協議会正副会長会で話題に出た、正副会長プラスアルファの拡大会議の人選について事務局に一任いただきたい。

(委員一同)

異議なし。

(平向会長)

山形新聞に市内にもあるスーパーで巡回車を出して買い物支援していると記事が出された。こういったことも提言していければと考えている。次回は松嶺コミュニティーセンターでの開催をお願いしたい。

7 閉 会

(平向会長)

これで第2回松山地域協議会を終了する。円滑な議事進行に協力を賜り、感謝申し上げます。